

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2021 年 6 月 30 日

船橋市長 殿



提出者

住 所 千葉県船橋市市場3丁目17番1号

氏 名 株式会社ケイハイ 代表取締役 福本 英敏

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-460-0813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	船橋市管轄内工事
事業場の所在地	船橋市管轄区域内
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日

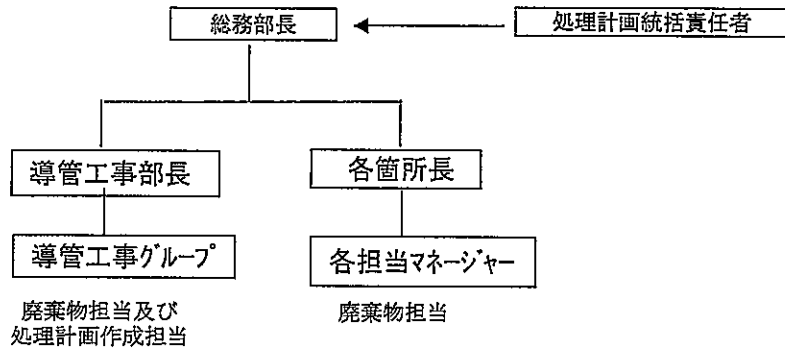
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：設備工事業 小分類：管工事業	
② 事業の規模	118億円（53期）	
③ 従業員数	442名（社員352名、外注者90名）	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>排出現場 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトがら・コンクリートがら ・汚泥 ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず ・がれき類 ・金属くず ・がれき類（石綿含有産業廃棄物） ・管理型混合廃棄物 ・腐アルカリ・安定型混合廃棄物 ・紙くず・廃プラスチック ・木くず 	<p>→ 委託処理（再生利用）</p> <p>→ 委託処理（最終処分）</p>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2020年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトがら等の廃棄物に、骨材等の廃棄物が混合しないように分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同様に、廃棄物に他の廃棄物が混合しないように分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実績は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の予定は無い		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の中間処理の実績は無い			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の中間処理の予定は無い			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の実績は無い	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定は無い	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（2020年度）実績】	
	別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙3の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状	【前年度(2020年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類(石棉含有産業廃棄物)	安定型混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	4066.660t	189.200t	144.280t	11.820t	40.690t	1.695t	8.504t	9.330t	13.320t	6.240t	1.500t	12.525t	2.200t
	優良認定処理業者への処理委託量	23.760t	10.660t	14.060t	0.000t	40.690t	1.695t	8.500t	0.000t	13.320t	6.240t	1.500t	4.725t	1.650t
	再生利用業者への処理委託量	4066.660t	189.200t	144.280t	11.820t	40.690t	1.695t	8.504t	9.330t	13.320t	6.240t	1.500t	12.525t	2.200t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
(これまでに実施した取組) ・当社事業活動により発生するアスファルトがらは、全て再生利用業者へ処分委託を行っている。 ・当社事業活動により発生するその他の産業廃棄物は、再生できるものは全て再生利用業者へ処分委託を行っている。														

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	【前年度(2020年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	安定型混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック類	木くず
	排出量	4066.660t	189.200t	144.280t	11.820t	40.690t	1.695t	8.504t	9.330t	13.320t	6.240t	1.500t	12.525t	2.200t
(これまでに実施した取組) ・アスファルトがら等の産業廃棄物は、ガス管理設工事等で排出されるが、適性な工事範囲を計画し、計画以上の廃棄物の排出が発生しない運用を図っている。														
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	安定型混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック類	木くず
	排出量	4000.000t	180.000t	140.000t	10.000t	40.000t	1.000t	8.000t	9.000t	13.000t	6.000t	1.000t	12.000t	2.000t
(今後実施する予定の取組) ・当社事業で発生するアスファルトがら等の産業廃棄物に対し、工事計画時に適正量を計画し、効率的な施工を行う事により廃棄物の排出量を抑制することを促進させる。														

②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	安定型混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	4000.000t	180.000t	140.000t	10.000t	40.000t	1.000t	8.000t	9.000t	13.000t	6.000t	1.000t	12.000t	2.000t
	優良認定処理業者への処理委託量	100t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	4000.000t	180.000t	140.000t	10.000t	40.000t	1.000t	8.000t	9.000t	13.000t	6.000t	1.000t	12.000t	2.000t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) ・当社事業活動により発生するアスファルトがら等の産業廃棄物は、再生処理ができる処理業者への委託を目指す。														

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2021年6月30日

船橋市長 殿



提出者

住 所 千葉県船橋市市場3丁目17番1号

氏 名 株式会社ケイハイ 代表取締役 福本 英敏

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-460-0813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2020年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

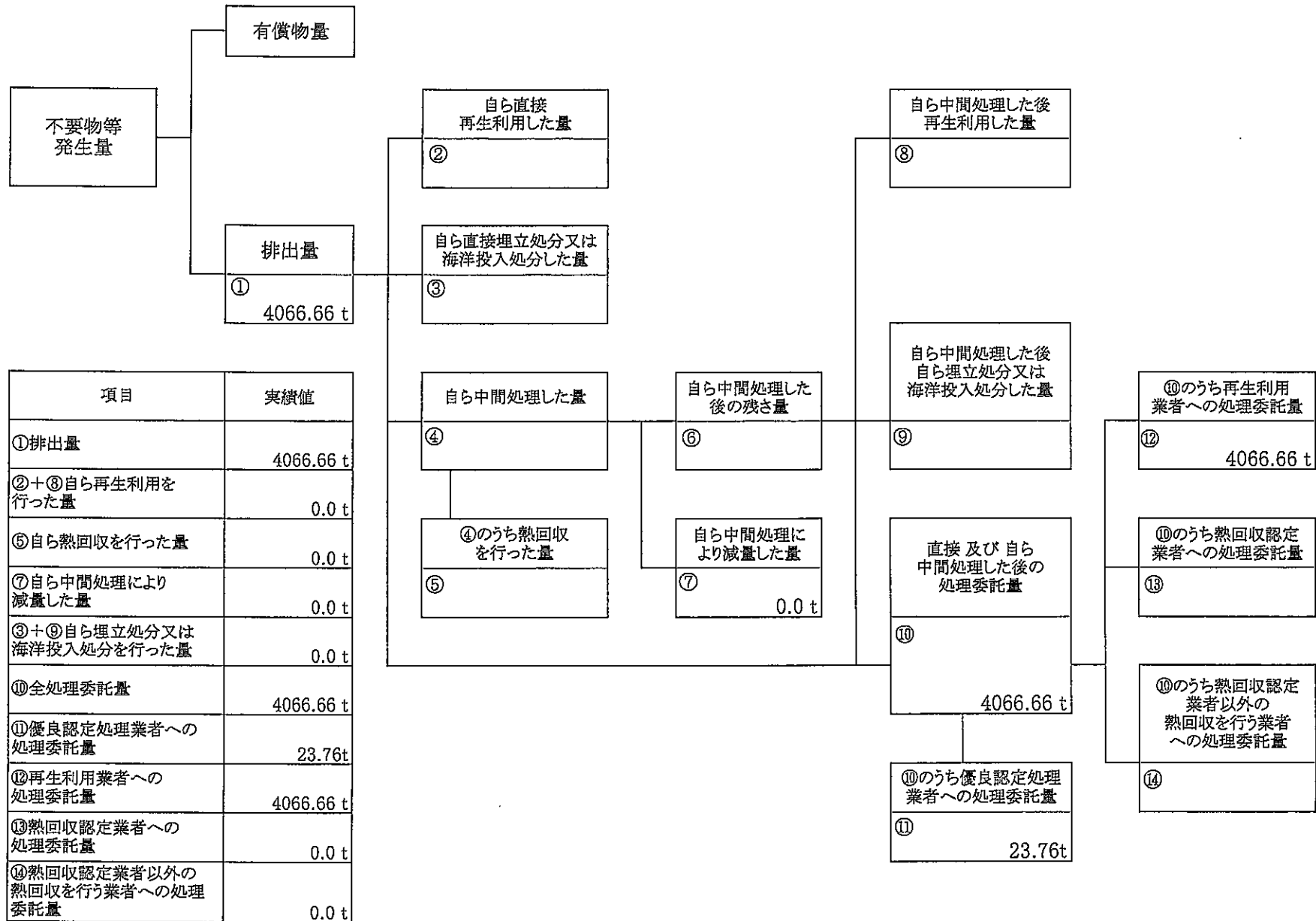
事業場の名称	船橋市管轄内工事
事業場の所在地	船橋市管轄内工事
事業の種類	大分類:建設業 中分類:設備工事業 小分類:管工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2699.5 t	全処理委託量	2699.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2699.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

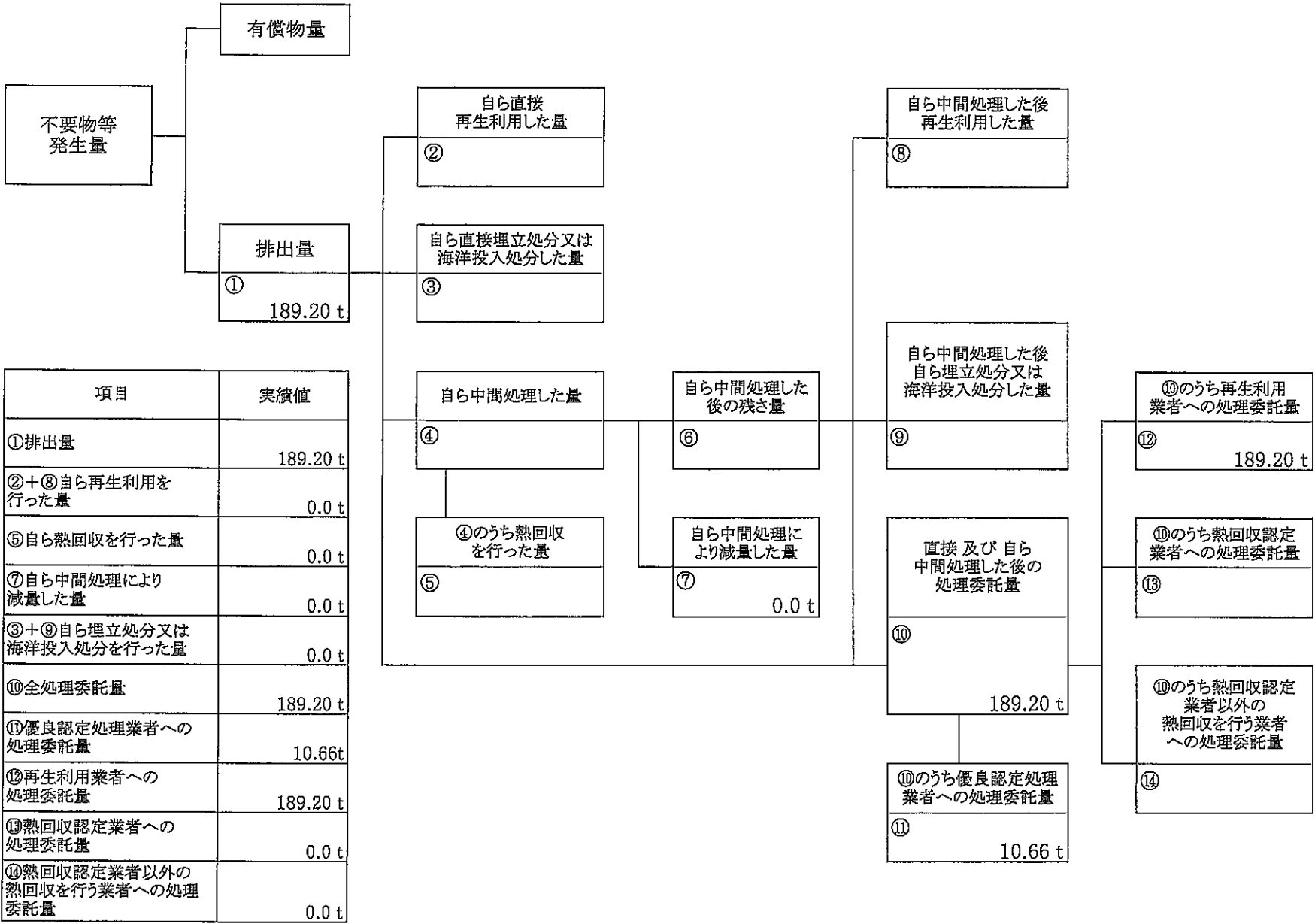
(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	4066.66 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4066.66 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.76t
⑫再生利用者への処理委託量	4066.66 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

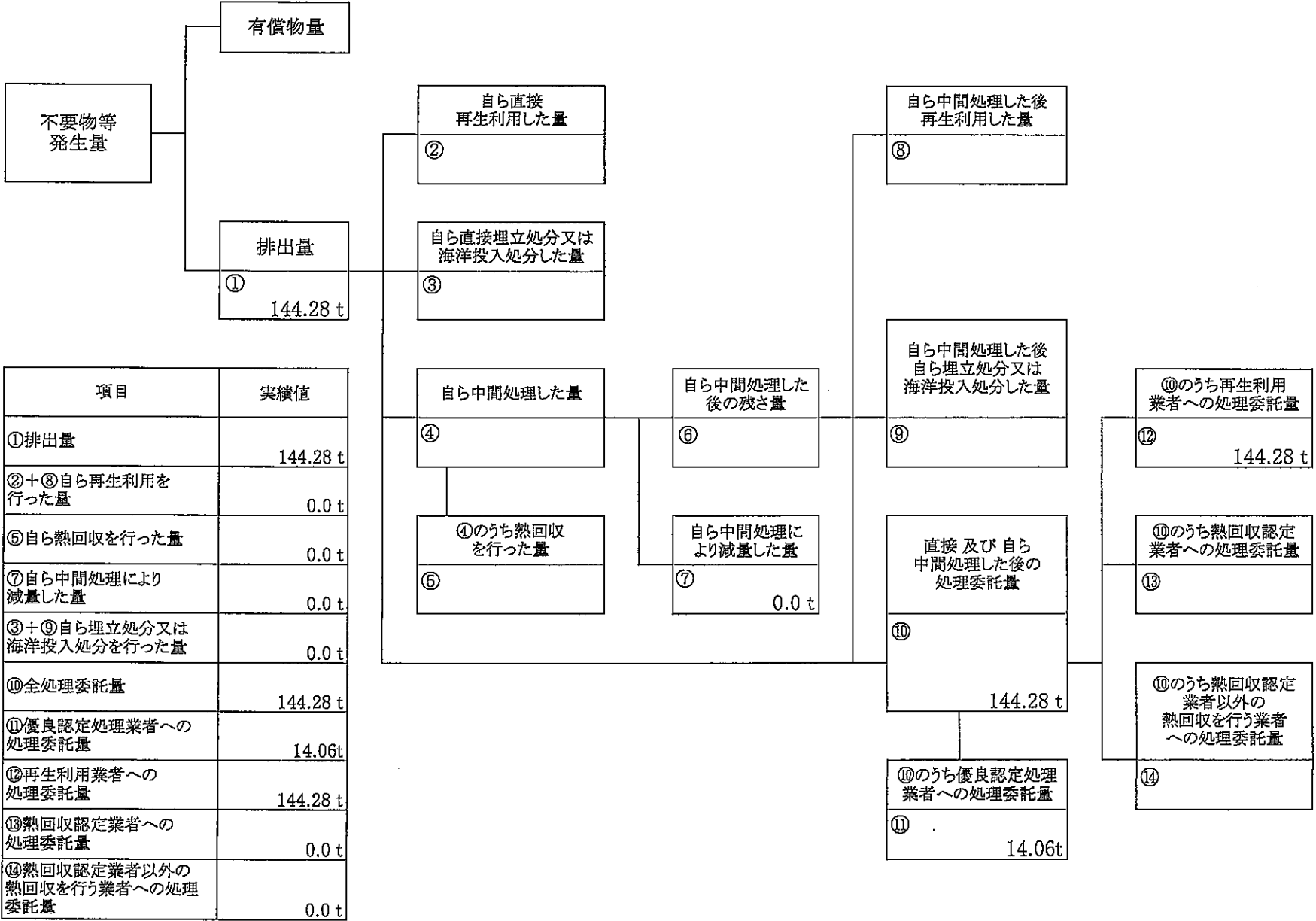
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	189.20 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	189.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.66t
⑫再生利用者への処理委託量	189.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

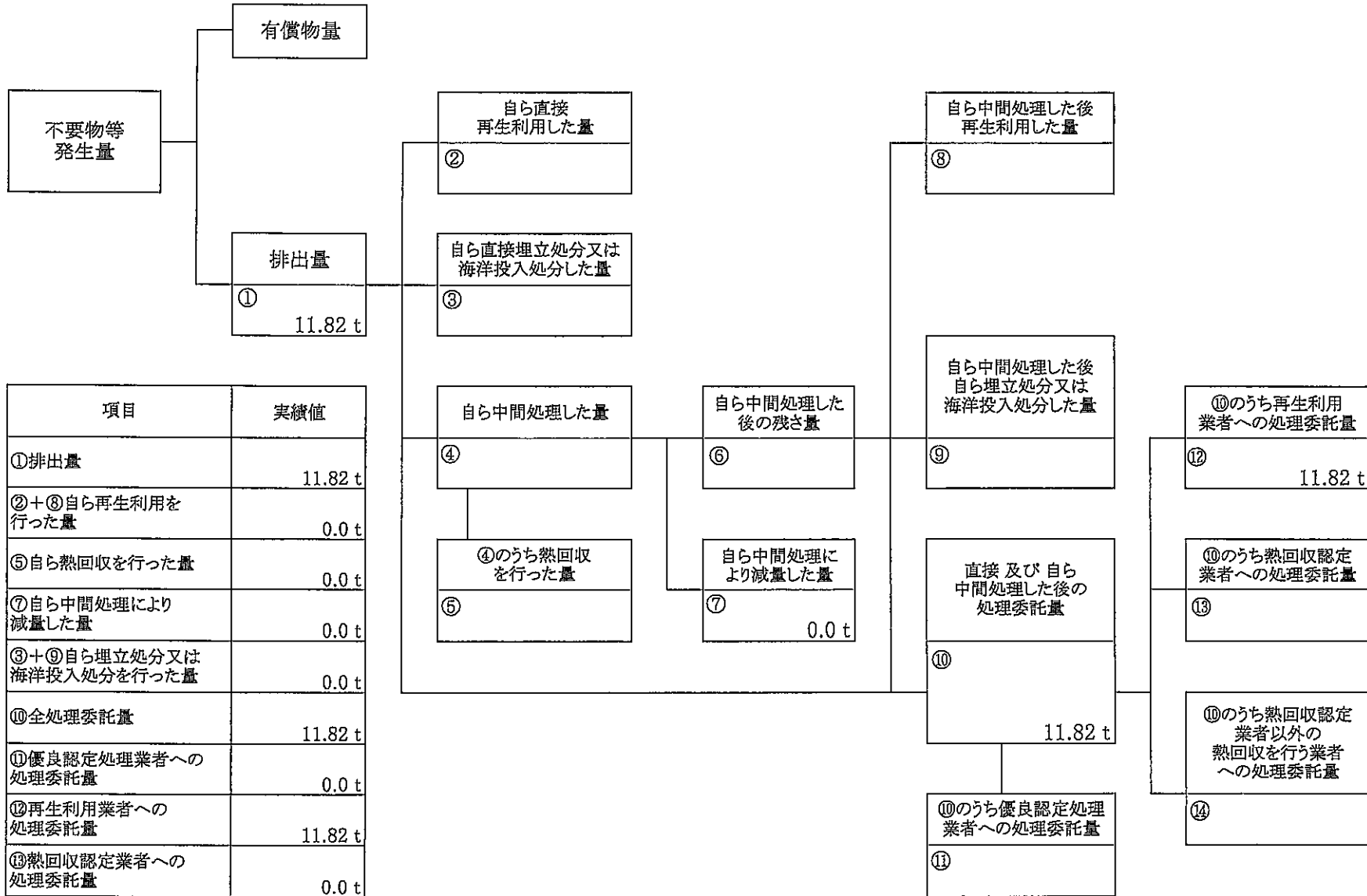
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

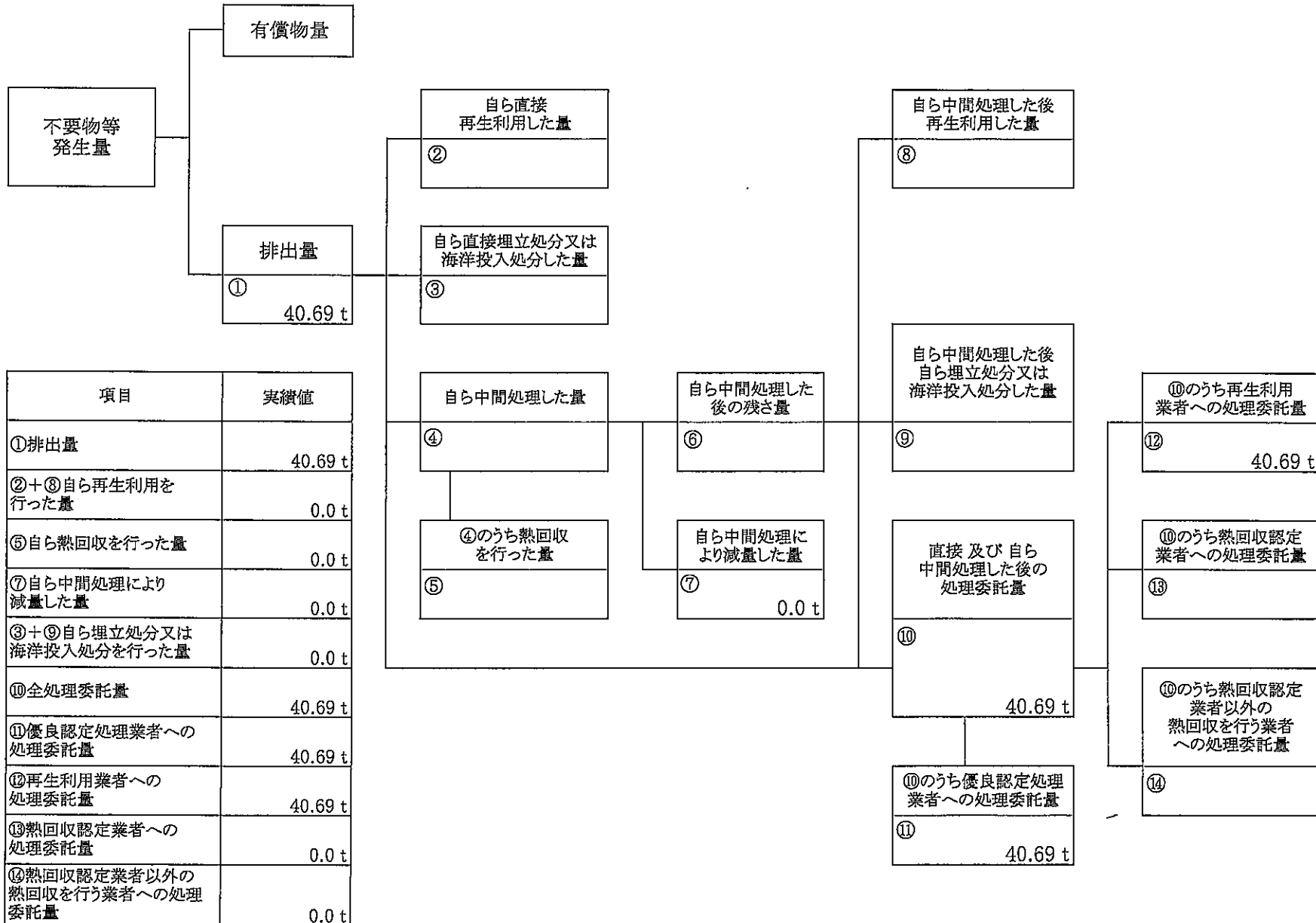
(産業廃棄物の種類: 汚泥)



項目	実績値
①排出量	11.82 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.82 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.82 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

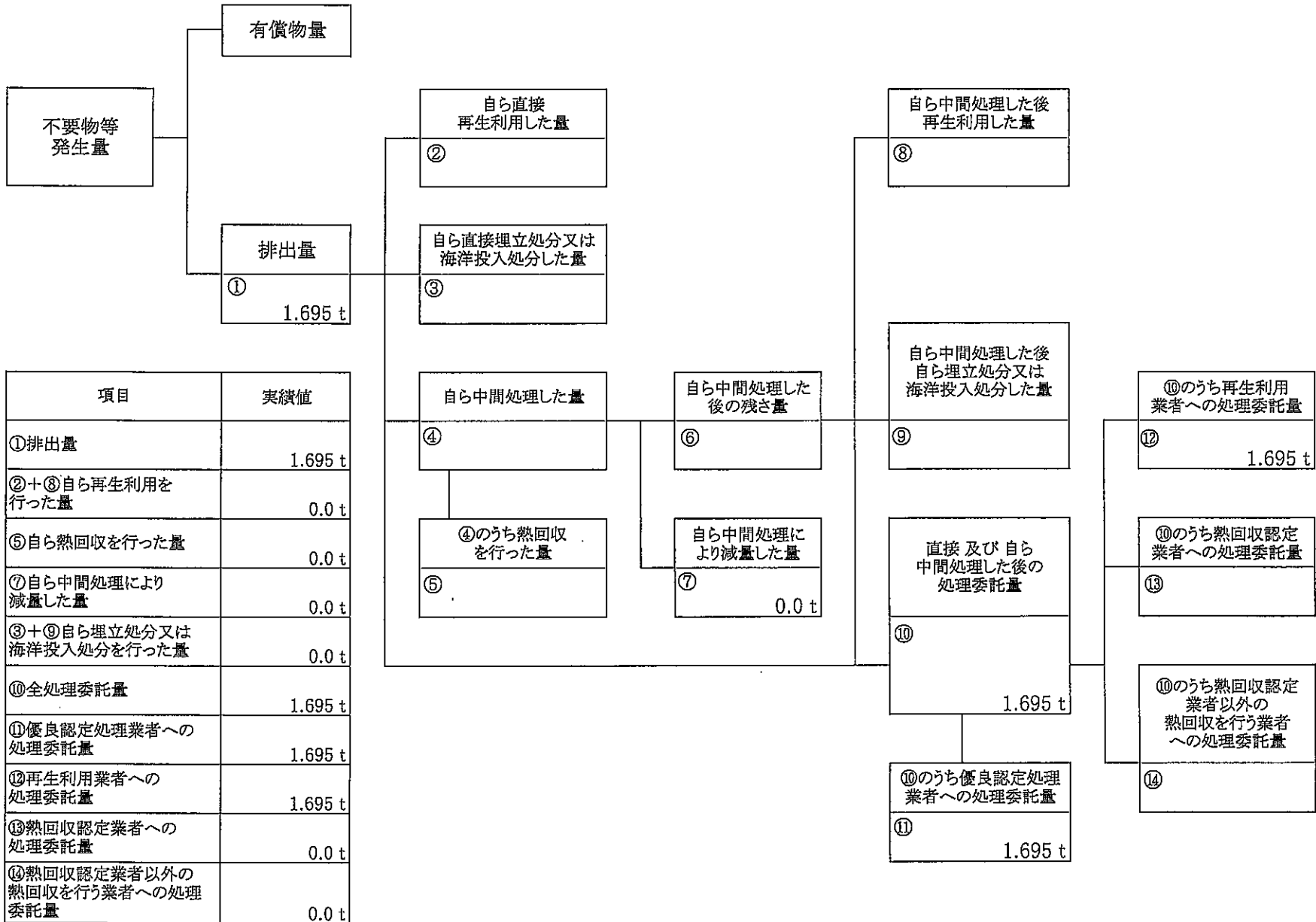
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



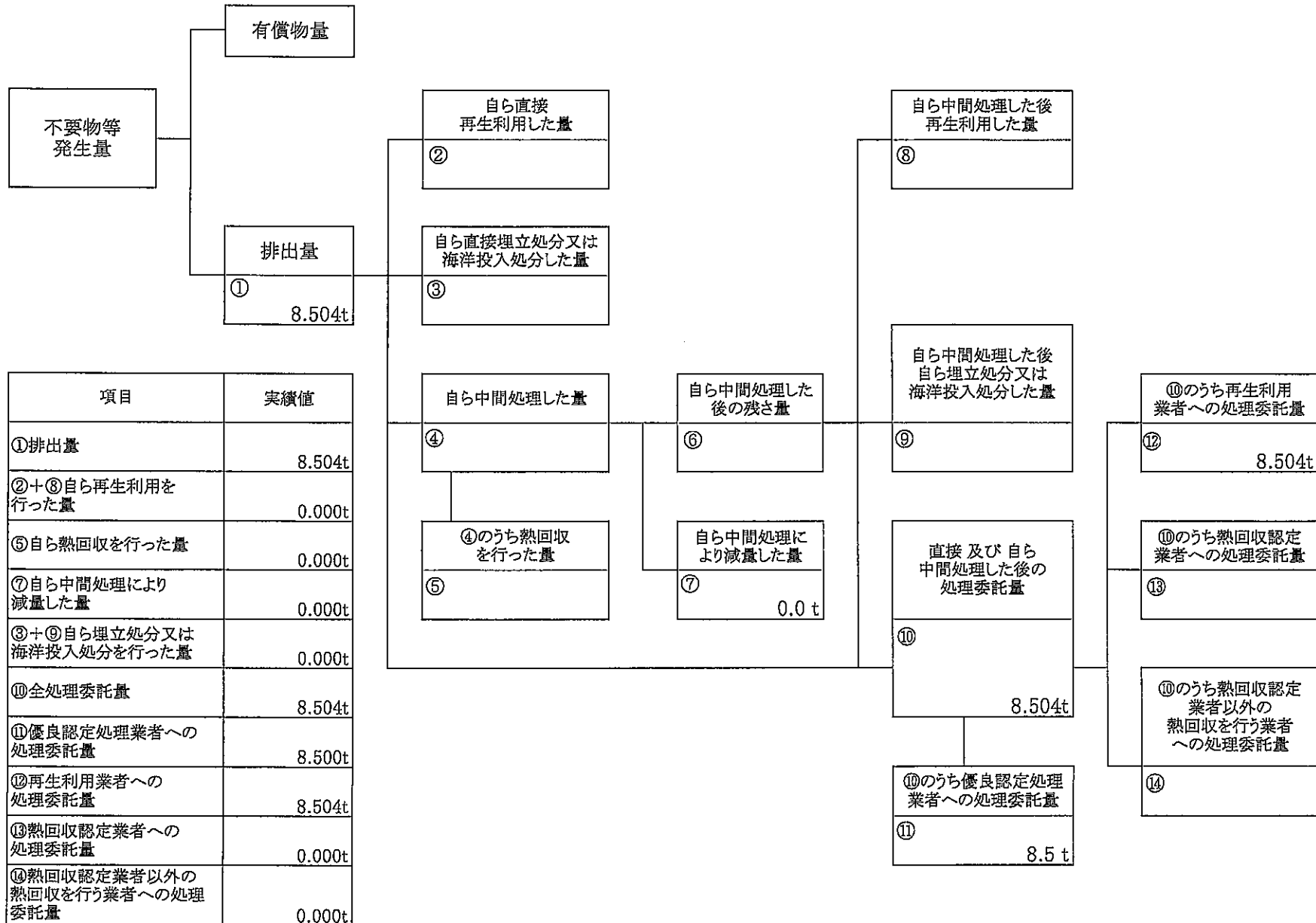
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



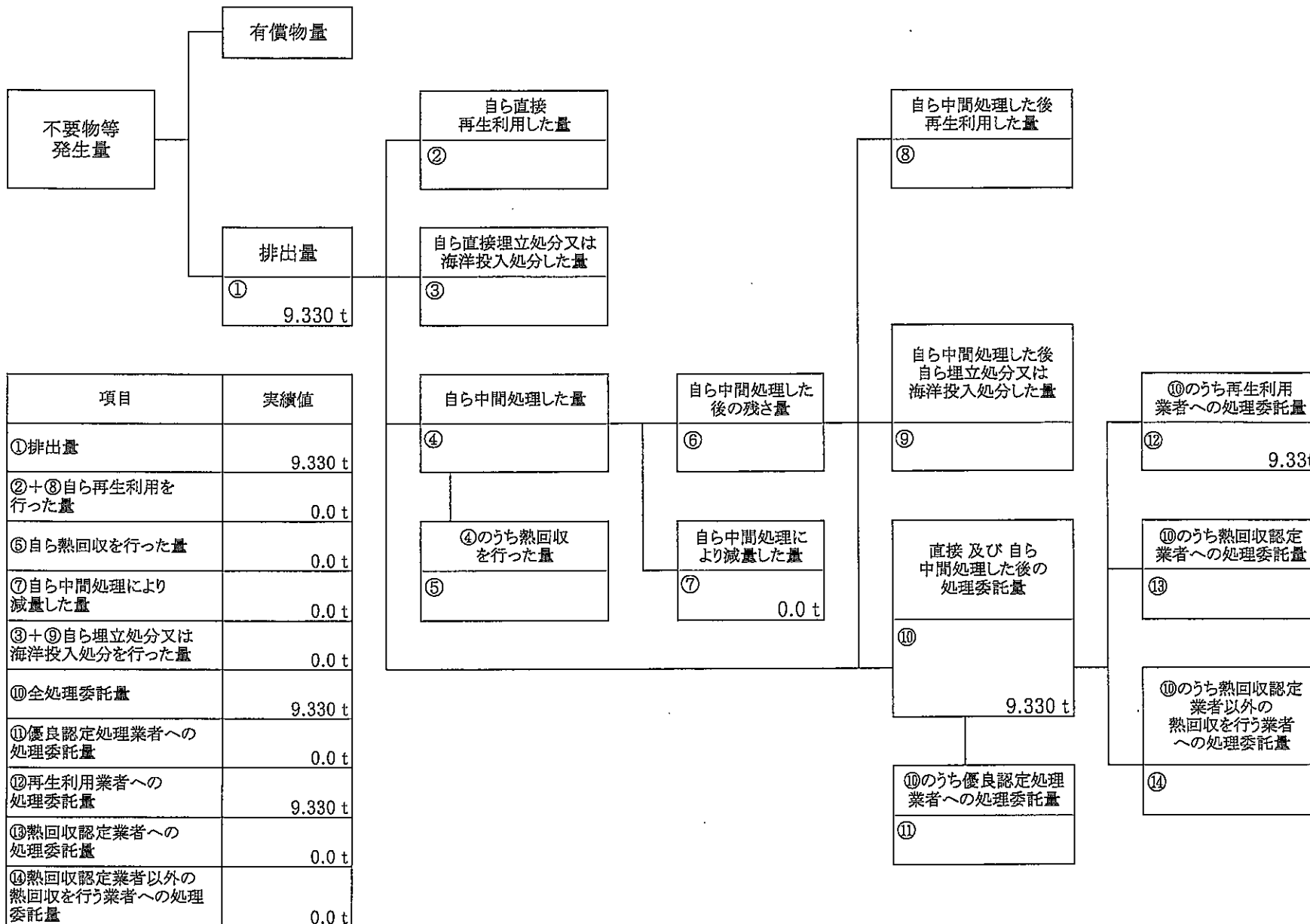
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



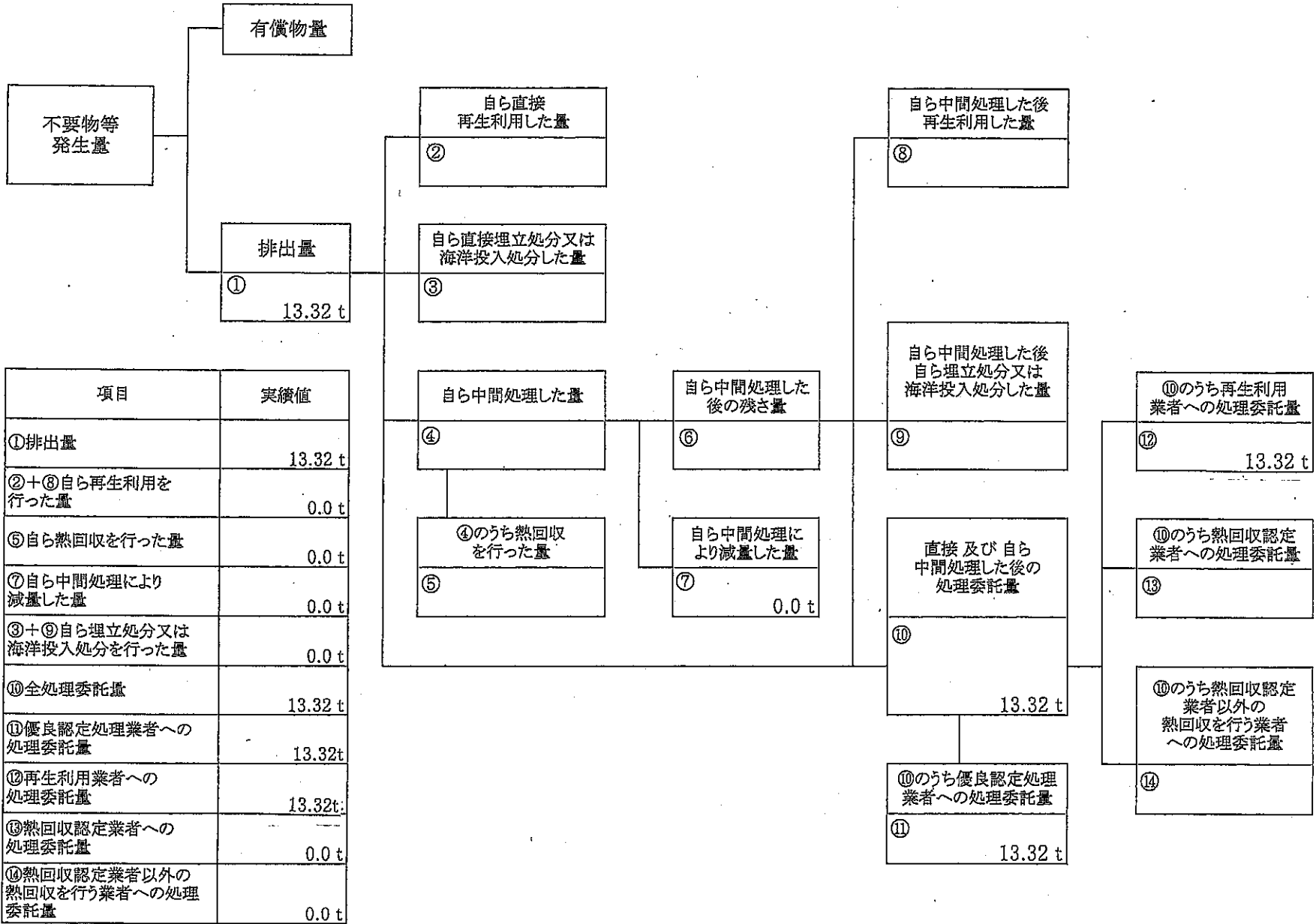
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



計画の実施状況

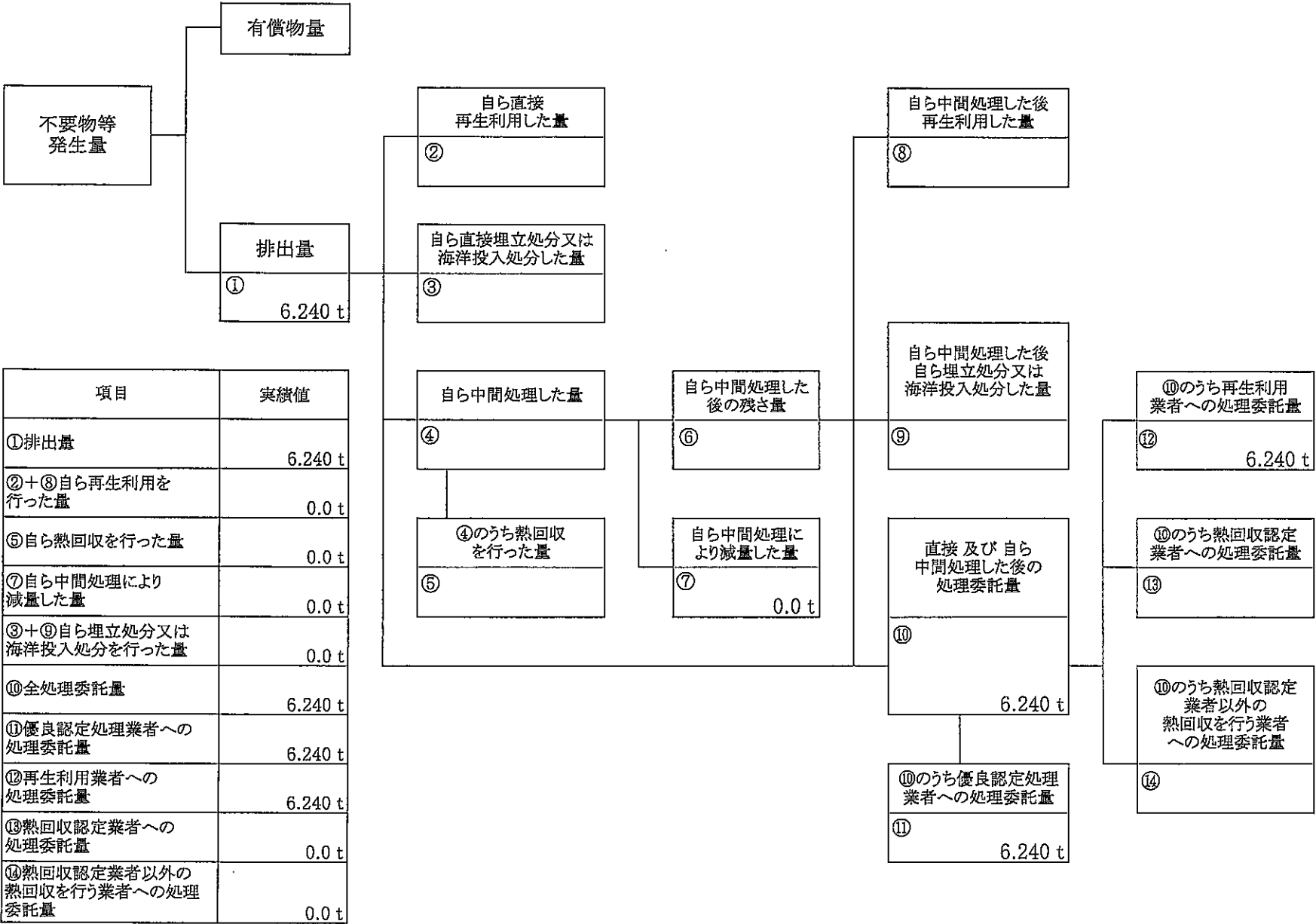
(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))



項目	実績値
①排出量	13.32 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.32 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.32 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.32 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

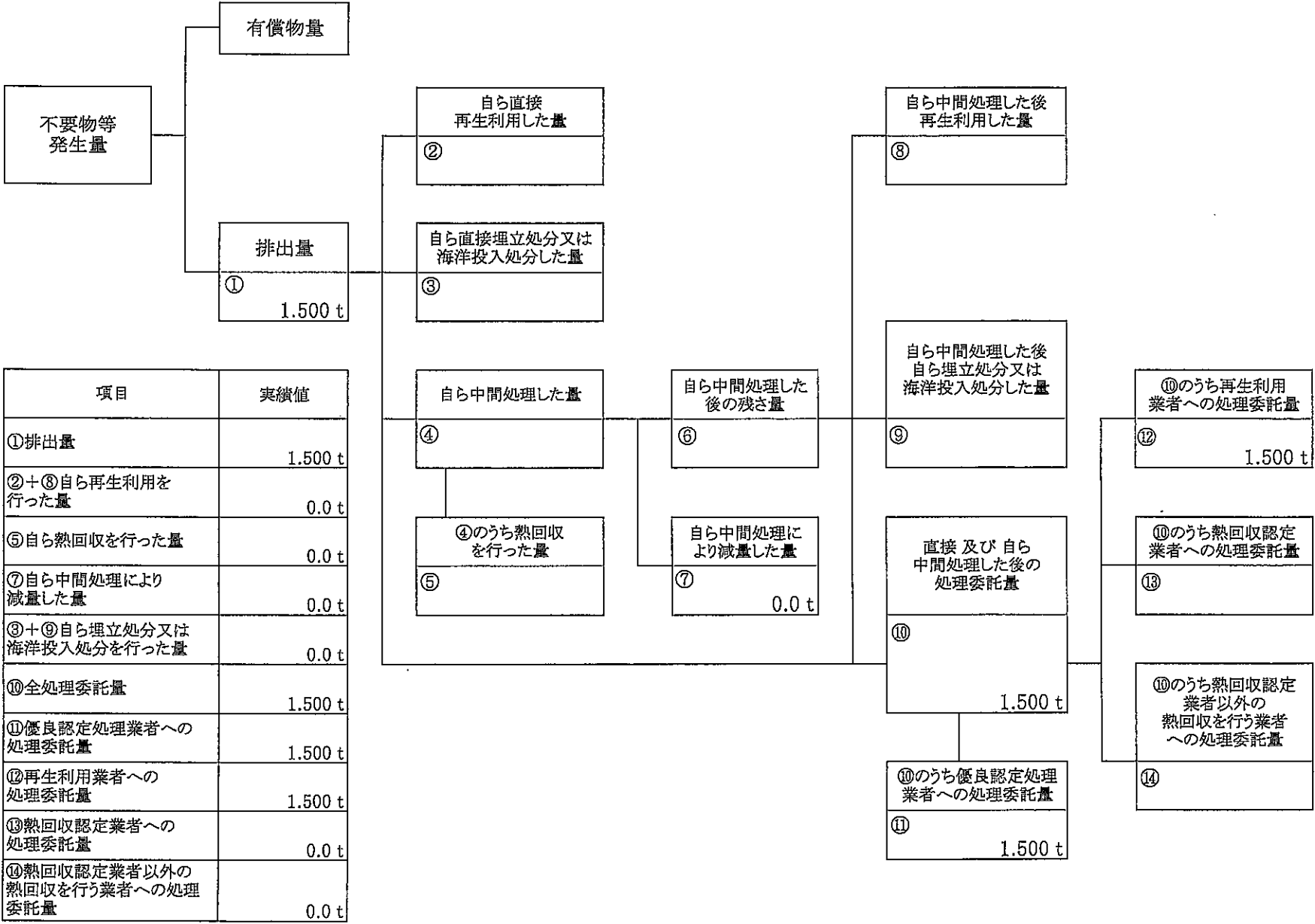
(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	6.240 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.240 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.240 t
⑫再生利用者への処理委託量	6.240 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

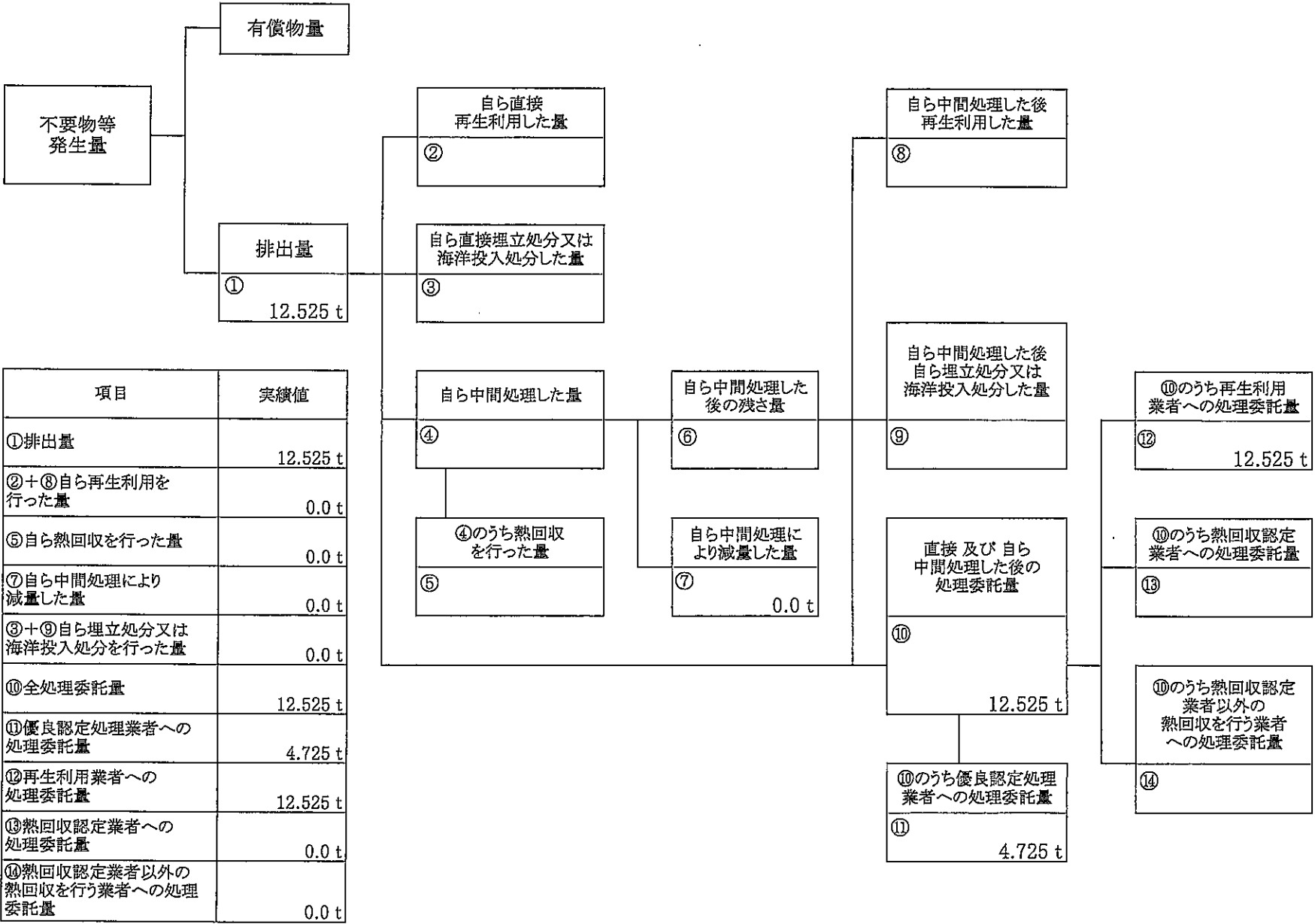
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



項目	実績値
①排出量	1.500 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.500 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.500 t
⑫再生利用者への処理委託量	1.500 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

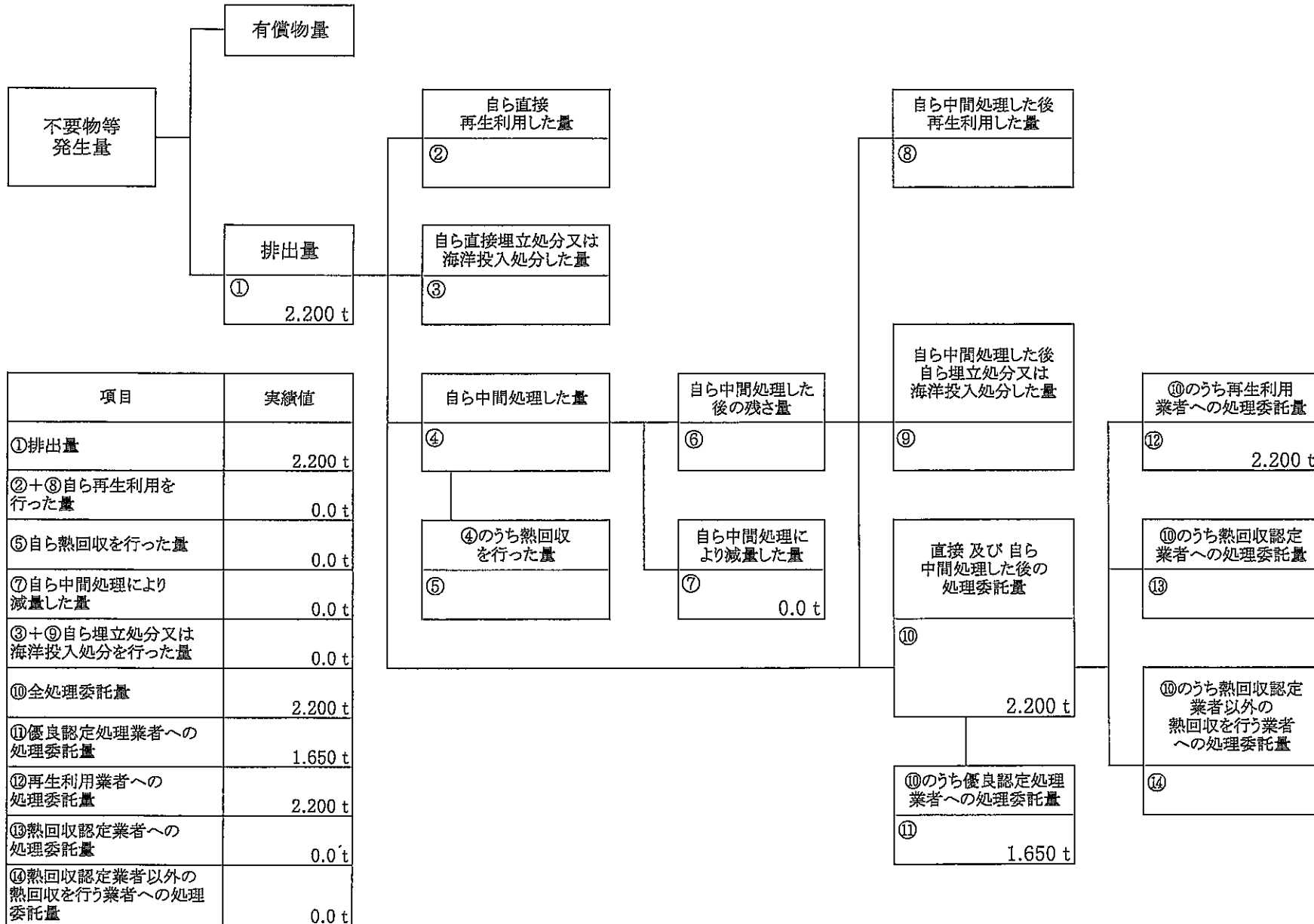
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	12.525 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.525 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.725 t
⑫再生利用者への処理委託量	12.525 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。